



Newspaper in Education

横断歩道は「右手挙げて」



横断歩道の渡り方を練習する新1年生
11月5日午前、沼津市立香貫小

春の全国交通安全運動

6日に始まる春の全国交通安全運動を前に、県内各市町が5日、事前広報活動を行った。県内の今年の交通事故死者は、4日時点で54人になり、愛知県(63人)に次いで全国2番目に多い。運動は「子どもと高齢者の交通事故防止」を基本方針に掲げ、交通弱者の保護を図る。15日まで各地でさまざまな活動を展開する。

県内各地で事前広報

入学式が行われた沼津市立香貫小では、新1年生97人を対象に交通安全教室が開かれた。家族と一緒に登校してきた1年生は、校舎玄関前に敷かれたビニール製の横断歩道の前で、交通安全指導員の指導を受けながら大きく右手を挙げて左右を確認。緊張した面持ちで横断歩道を渡った。県警の1～3月のまとめでは、前年同期比で人身事故件数と負傷者数は減少したが、死者は52人と16人増えた。死者の67%(35人)が高齢者。このうち歩行中が17人、自転車乗車中が8人になる。中学生以下の死者はないが、昨年4月に浜松市で3歳児が車にはねられ死亡するなど、春は例年、子どもが関連する事故が多発している。期間中は反射材の普及や、ドライパーが互いに歩行者優先を呼び掛ける「思いやりパッシング運動」の定着などに取り組む。

2013年4月5日夕刊 中部版

- ① おうだんほどうをわたるとき、ちゅういすることはなんですか。しゃしんをみながら、かんがえましょう。
- ② がっこうにくるときに、あぶないとおもうみちをはなしあいましょう。

ねん くみ なまえ